

ジャイアンツの快進撃が続いてますねえ～、監督が代わっただけで、こうも見事にチームが強くなるとは、改めてトップの価値を思い知らされますねえ。

ということは、アメニティーズ(私が監督をつとめてる社会人野球チーム)が弱いのは、きっと私のせいなんだろうなぁトホホ(涙)

今日はね、私の経営者としてのターニングポイント、いわゆる分岐点についてのお話をしようと思います。

人は皆、『生かされてる』ってことをご存知ですか？

全てのことが偶然でないとしたら...って話もしましたが、人は必要な時に、絶妙なタイミングで出会いがもたらされます。私にとっては、税理士の島尾先生との出会いでしょうか。もし、島尾先生に出会わなかったら、同友会にも、倫理法人会にも、その他大勢の方々とも会うことはなかったでしょうし、きっと今とは180度違った人生を歩んでいたと思います。

そして島尾先生に、勧められて入ったのが同友会というところでした。

現在、中小企業家同友会の理事を務めさせていただいておりますが、私が初めて、同友会の集まりに参加させて頂いた時のこと、そこには長者番付に名前を連ねるような社長さん方が大勢いらっしゃいました。もちろん年齢的にも私が一番若いくらいでしたし、周りの社長さん方からみたら、自分はまだまだ若造というか子供みたいな感じで、ものすごく居心地の悪い思いをしたのを、昨日の事のように憶えております。

とりあえず、ひとしきり大勢の社長さん方と名刺交換をさせて頂いて、なんとか気持ち落ち着かせつつ会話にまぜていただくと、あることに驚かされました。

それはね、その社長さん達の会話の内容やノリが、今まで全く、であったことのない特有のものだったからなんです。

つまり私の知ってる大人や社長さん達とは、会話の内容やノリが全然違うんです。

まさにカルチャーショック！！ 衝撃的でしたね。

自分よりもワンランクもツーランクも上なんですよ。(まぁ、あたり前ですが...)

でも、よく考えてみたら、自分が生まれてきてから今まで、長者番付に載るような社長さん方とお会いしてきたらどうか？

それまでの私の社長のイメージって、社員の前でいばりちらして、毎日スナックや飲み屋で付き合いと称して宴三昧(うたげざんまい)...

でもここにいる社長さん方はどうだろう。会社の規模でもなんでも桁違いにスゴイのに、とっても謙虚。しかも夜の8時頃だというのに、酒も飲まずに勉強会だし、誰かに呼ばれりゃ『はいッ』の返事は驚くほど大きな声で元気がいい。...なんなんだ、これは...

緊張している私に対しても、積極的に話しかけて下さり、とても気遣ってくださいます。
ここにいる社長さん達全員が同じ波長なんですよ。
まさしくここには、私が目指す社長像の姿がありました。
とにかく、カッコいいんですよ、生き様が。もちろん立ち居振る舞いにしても、言葉遣いにしても、とてもスマートで、ある意味オーラがありますね。
決して、見た目がカッコいいんじゃないんです。

今なら、わかるんですよ。冷静に分析もできますし。でも当時は、驚きの連続でした。

でも、ちょうどその頃の私は、いろんな面で経営に行き詰って悩んでいた時期だったので、成功している社長さん達の共通点を発見したような気がして、とてもうれしかったんです。だってそうでしょ、こうすれば、上手くいくよってという答えを教えてもらったのと同じなもの。

そこで、世の中には、二通りの経営者タイプがあるということを学びました。
社長という同じ肩書き、同じ経営者でありながら、結果は新聞に載るほど税金納める社長と、そうでない社長がいるってことだけ。(まだ私も新聞に載った事ないですが...ガーン)

今の私の言葉で分析させていただくと、ふだん何気ない言葉や会話が、その人の未来、将来、運命、人生を変えていくんだなと。

ホントに実感として思いましたね。

穏やかな口調で、常にプラス言葉。会話の中でグチや悪口は聞いたことないですし、べらんめえ口調だったり、すぐに怒ったり、ムカついたり、キレたりする事もないです。言葉だけでなく他にも、たくさんあります。例えば、靴をキチンと脱いで揃えろとか。まあ、あたり前なんだけど、そのあたり前のことをどれだけの大人が実践しているだろうか？ 同友会の社長さん達は間違いなく、自宅でもキチンと揃えてるはずですよ。もうね、そういったことが、ピンピン伝わってくるんです、一緒にいるだけで。そしたらさあ、いかに自分が甘えて生きてきたか、いろんな言い訳しながら、やってきたか、恥ずかしくなるくらい反省しまくりでした。だってそうでしょ、金がないとか、うまくいかないとかって、自分の脱いだ靴ひとつ満足に揃えられないで、能書きだけ語ってんだから。

皆さんは出来てますか？ よそ様のところへ行った時だけやるなんてのは、ダメですよ。それは、メッキといってすぐに、立ち居振る舞いでバレますから。普段やってる人は、スマートなんだよね。いい意味でクセになってるんだと思う。だから苦じゃないんだよね。結果さ、脱いだ時揃えておけば、靴を履くときもそのまま、スッと履いて玄関出れる訳じゃない。もし脱ぎっぱなしだと、身体をひねったり、足先で直したりしながら履かなきゃなんないんだよね。 出かける時、どっちが気分いいかは、いうまでもないでしょう。

こんな小さな差が、人の差であったり、経営者の差だったりするんだろうね。

ホントにそんな事だけでって？ 信じられない？ そうかもね。たしかに、靴そろえるだけでは、会社は儲からないよ。それ以外にもたくさん必要なことはあるでしょう。でもね、儲かっている会社の経営者は、たとえ自宅でも靴をキチンと脱いで揃えています。万にひとつの狂いもないくらい、間違いありません。

もし、靴なんか揃えなくても儲かっている社長がいたら、間違いなく失速するでしょう。なぜなら、基本がなっていないから。

あたり前のことをあたり前にできなければ、次のステップはないよね。

以前、お話した、整理整頓と同じです。

『凡事徹底』(ぼんじてってい)

まずは、ごくあたり前のことを徹底してやりましょう。

そこから、幸せな道が開けると確信しております。

同友会の中には、いまでも憧れている社長さん方が大勢いらっしゃいます。まだまだ憧れです。見習うべきところが山ほどあります。

その一方で、新入会員の人たちからみれば、私は理事であり、同友会の中では先輩でもあり、社員教育委員長という立場でもあります。そんな中、新入会員の方々と接することも多いのですが、その時に私が初めて同友会に足を踏み入れた時と同じ感想をもってくださる方がたくさんいて、とてもうれしく感じたりしています。

もしかして、私に憧れてる新入会員さんがいたりして...、なーんて、やっぱねえかそれは！でもね、皆が皆、同友会に入って良かったといっている訳ではなくて、やはりすぐやめてしまう人も多いの。

会社が順風満帆で入ってくる人は少数なので、少なからず何か問題があって、同友会とめぐりあっている訳だから、頑張っただけで活動すれば、会社での悩みも解決するのに、なぜか続かない。残念なことに自分で、道を断ち切ったよね。

『つるみの法則』にも書いたけど、友人や仲間等、自分にとってラクな相手とばかり、つるんでいては、人は成長できません。しかし自分よりもレベルが上の人と接すること、付き合うことは、とても大変です。でもそこから逃げて生きるかどうか、人生の分岐点、ターニングポイントではないでしょうか。

自分の人生を変えるような人と、まだ、めぐり合った経験のない人もいますでしょう。

でもそれは違うんです。

きっと逃げてただけなんだと思います。そういった人にめぐり合っても、自分にはムリって、決めてるだけです。

相変わらず、訳のわからない話でスママセン。
でも、私の研修を受け続けている人は、少しずつ理解できていると思います。
5月28日のビデオも、まさにそうです。
これは、超おすすめビデオです。
自分自身にスイッチオンできる、元気がでる、めちゃくちゃいい話です。
はっきり言って、観なきゃ損！ 次回予定はございません。
その上、忘年会なみの宴会で、無料！欠席予定の方も、もう一度ご検討を！
なぜか宣伝していますが、とりあえずみんな参加してね～。(半強制だね!(^^)!)

最後に、心はどうでもいい、言葉が大事って話をしたけど、誤解があるといけないので
言葉が先で、心はあとから、ついてきますってことを、わかりやすい話にしてみました。

会う人会う人をイヤな気分させるか、気分よくするかで人生は変わります。
そば屋さんに行ったら、オレのほうが客だからと、えらそうな顔をする人がいるけど、
それが違うの。

お水を持ってきてもらったら、『ありがとう』
おそばを持ってきてもらったら、『ありがとう』
食べ終わったら、『おいしかったよ。ありがとうね』

これは社会のルールなの。

心にもないことを、言いたくないという人がいるよね。そうじゃないんだよ。
だって、心って、いつまで待てば変わるか、わからないよね。
心を先に変えようとする人は何もできない。

言葉が先。

心はあとから、ついてきます。

もし、そば屋の店員さんが女の人だったら、『おばさん』じゃなくて『おねえさん』。
自分だって、『おじさん』と呼ばれるより、『おにいさん』と呼ばれたほうが気分いいよね。
自分は言われたいけど、人には言いたくないというのは性格が悪いの。

もし、その人がどう見ても『おばさん』だったとしても、人のイヤがることは言わない。
人が喜ぶことを言う。

それが人の生きる道なの。

やらない理由はたったひとつ、やりたくないからです。

世の中は、とてもシンプルにできてる。

長文になっちゃったけど、最後まで読んでいただきまして、ありがとうございます。

平成 18 年 5 月吉日

株式会社 杉原建築設計事務所
代表取締役 杉原 吉朝